

## 県が復興道路として位置付けた「宮古盛岡横断道路」の初めての開通区間について（築川ダム付替道路）

県が事業を進めてきました一般国道106号の「築川道路」と主要地方道盛岡大迫東和線の「築川工区」について、3月10日に開通することとしました。

平成8年度の事業着手以来、17年の歳月をかけて、事業を進めてきました10.7kmの区間が完成となります。

今回開通する「築川道路」は、県が復興道路として位置付けた「宮古盛岡横断道路」で初めての開通区間であり、東日本大震災津波により被災した沿岸地域の一日も早い復興を進めるものです。

なお、供用開始（一般開放）に先立って、現地にて開通式典を行います。

### 【開通式】

日時：平成25年3月10日（日） 11時00分～

場所：盛岡市川目地内（付替道路国県道交差点付近）

主催者：岩手県

### 【供用開始】

開通日時 平成25年3月10日（日） 15時

開通区間 一般国道106号（築川道路） 6.7km

主要地方道盛岡大迫東和線（築川工区） 4.0km

築川ダム付替道路 位置図



## 整備効果

### 1. 一般国道 106 号 築川道路

#### (1) 県が復興道路として位置付けた「宮古盛岡横断道路」の初めての開通

今回開通する「築川道路」は、県の復興道路「宮古盛岡横断道路」で初めての開通区間であり、東日本大震災で被災した沿岸地域の一日も早い復興を進めるとともに、災害時の防災力強化はもとより、物流の効率化や観光ルートの整備による産業の振興、救急医療への支援などを促進する。

#### (2) 安全で円滑な交通の確保

現道における幅員狭小・線形不良・落石等の危険箇所を回避したバイパス整備を築川ダム建設事業の付替道路と併せて行うことにより、安全で円滑な交通を確保する。

### 2. 主要地方道 盛岡大迫東和線 築川工区

#### (1) 安全で円滑な交通の確保

現道における線形不良・冠水等の危険箇所を回避したバイパス整備を築川ダム建設事業の付替道路と併せて行うことにより、安全で円滑な交通を確保する。

## 事業概要

	全体計画	今回開通区間	全体事業費	事業期間
一般国道 106 号 築川道路	延長 約 6.7km 幅員 7.0 (15.5~14.5) m 主要構造物 ・橋梁 14 箇所 (約 2.3km) ・トンネル 4 箇所(約 1.0km)	全区間	約 283 億円	平成 8 年度～ 平成 25 年度
主要地方道 盛岡大迫東和線 築川工区	延長 約 4.9km 幅員 6.0(9.0)m 主要構造物 ・橋梁 5 箇所 (約 0.6km) ・トンネル 1 箇所(約 1.5km)	4.9km のうち 約 4.0km 【部分供用】	約 93 億円	平成 8 年度～ 平成 26 年度